

こすど公民館報

町館信日円所
戸民常15刷
須央田月部
小中成每一
発行所 印刷所
発行人 印刷所
発行日 印刷所
発行部 印刷所

親からみる 現代の高校生



細井 實

親にとって我が子は、たとえ成績や素行が悪くとも他人の子供と異ったかけがえのない存在です。また、子供にとって親は反抗と憎しみの対象となることもあるに、育ての親としていつまでも尊敬できる存在です。

親子のかわりには他の人々とのかわりとは異

った一種独特なもので、子供達にとって親との関係が重要であることはいままでもありませぬ。

しかし親と子の関係は常に一定ではなく、子供の身体的、精神的な発達にもなつて変化して行くもので、親の側からみますと、我が子はいつになつても子供であることには変わりありません。現代高校生をその点から眺めると、兄弟の少ない核家族の中で親の保護を受けながら生活しています。物質的に豊かな環境に恵まれ、飢えを知らず、貧しいながらも

お互いに心が通いあう親子兄弟という人間関係を美徳としてきました。しかし現在はその逆で、物質的な豊かの中で心の貧困さが育まれてきているように思えてなりません。

ところが高校生の年代になりますと、自主独立をはたそうという気持ちが働いてまいります。この時期には真の意味で父母からの精神的な離脱が必要ですが、過保護と甘えという状況に慣らされた今の高校生達か精神的自立をうまく達成できるか祈らずにはおられません。

また、中学生から高校生にかけての年代には、自分の殻の中に閉じこもつて心の中を他人にみせまいという気持ちが強く働いていて自分の一人だけの部屋を好み、またそれを要求し親はそれを与えられないか、それが自分の領土であるかのように思ひこみ、両親や兄弟がその中に足を踏みこむことを強く拒んだりする。これは他人とちがう独自の存在であるか、気が始めた証拠ではないかと思ひ、また、その中で自分の自我

を見出すことは仲々できず、また心の中で芽生えてきた自我を自分の思い通りにしたいのが普通でしようが、思うようにいかないで、これを解決するために苦しみ悩みこわれやすく、不安定な自分を支えきれぬ人にも自分の本心を充分にみせるものさすです。

高校生が自分の本心をもっとも打明けやすい相手は友達だそうす。その次に選ばれるのは多くの場合母親だそうす。容易に心の中をのぞかせようとするのは父親だそうす。将来にかかわる問題では両親、特に

父親が相談相手に選ばれることが多いようです。何れにしても高校生は自分の将来の決定には両親との対話を尊重しようとしていて、この時期に親が暖かく信頼できる親であるならば子供は、親を充分に意志の疎通を計るものと予想されます。

現代の高校生を親の立場から見直し、親は子供の成長を暖かく見守ることが重要で、子供が親からうまく飛び立つことができるよう手を差し伸べようとするのが、高校生の育成に大切ではないかと思われます。

中央公民館の クラブ紹介 (一)

関東甲信越大会を 目ざして

初夏の候、中央公民館三階では毎週水曜日になりますと小須戸町女声合唱団の返信用葉書を同封すること。

昭和五十九年十月九日 951 新潟市一番堀通町県庁第二分館新潟県教育庁文化行政課とし、封筒表面に「県芸術祭文芸作品応募原稿」と朱書する。

三、その他

①入選作品の著作権は、受賞の日から一カ年新潟県教育委員会に所属するものとする。

②詳細については、新潟県教育庁文化行政課 (TEL 0252 315511 内線3674) に問い合わせられたい。

昭和59年度新潟県 芸術祭文芸部門 作品募集

- 県教育委員会では、昭和五十九年度芸術祭文芸部門として、作品発表の場を提供すると共に、県文芸の振興を図る目的として次により作品を募集しています。
- 一、種目・応募資格
- ①次の各種目に一般の部、高等学校の部を設ける
- ・小説 (一般四〇〇字詰原稿用紙五〇枚以内、高校四〇〇字詰原稿用紙二〇枚以内とする)
 - ・詩 (一般・高校四〇〇字詰原稿用紙四枚以内で現代詩とする)
 - ・短歌 (一般・高校一人新作五首を一編として審査する)
- ②応募上の注意
- ・応募原稿は、四〇〇字詰原稿用紙にインク書きとする。
 - ・イ楷書ではっきり書く。
 - ・ウ当用漢字以外の漢字や読みにくい漢字には、
- ③応募の際、あて先明記
- 振り仮名をつける。
- エ応募原稿第一枚目に次の事項を記入すること
- ・応募種目、一般、高校の区別を明記する。
 - ・郵便番号、住所、氏名、性別、年齢、職業、電話番号を記入する。
 - ・二枚目より本文を書きおこす。
 - ・小説は梗概をつけ右とじとする。
 - ・小説・詩は新仮名づかいを使用する。
 - ・応募は一種目につき一編に限る。ただし一人二種目以内とする。
 - ・応募作品は未発表作品であること。
 - ・応募原稿は返却しない
- ④応募の際、あて先明記
- の返信用葉書を同封すること。
- ⑤応募締切り、あて先
- 昭和五十九年十月九日 951 新潟市一番堀通町県庁第二分館新潟県教育庁文化行政課とし、封筒表面に「県芸術祭文芸作品応募原稿」と朱書する。
- 三、その他
- ①入選作品の著作権は、受賞の日から一カ年新潟県教育委員会に所属するものとする。
- ②詳細については、新潟県教育庁文化行政課 (TEL 0252 315511 内線3674) に問い合わせられたい。



合唱団の熱心な練習風景が見られます。というのも来る七月十五日(日)に

赤塚功先生

五年目を迎えた女声合唱団「継続は力なり」という格言があります。地域の皆様の暖かいご援助のもとに、幾多の困難



子ども 徳永 繁

図書だより

- を切り抜かれ「歌うよるこび」を求めて合唱を続けてこられた皆様。指揮者としても、同慶の至りであります。特に主婦業や、職業をお持ちの方々の苦勞は並たいてい
- このことではなかったかと思ひます。
- 「合唱の輪」が小須戸町にとどまらず大きく広がっていきまことを祈っております。
- ◆にいがた地酒一〇〇選
 - ◆秘境の旅宿を探す本
 - ◆博学紀行新潟県
 - ◆李二の世界
 - ◆総理官邸裏話
 - ◆メモント・モリ
 - ◆関ヶ原の戦い
 - ◆子供のための やさしい予防医学
 - ◆ジャパニーズマインド
 - ◆クリストファー (児童本)
 - ◆決闘、ルパン対
 - ◆ホームズの冒険
 - ◆どろぼう天国
 - ◆ピクトリア号怪事件
 - ◆奇岩城
 - ◆他十冊余
 - ◆なお、県立図書館四百冊を入れ替えました。ご利用下さい。
- 新刊案内 (一般)
- ◆良寛 水上 勉
 - ◆一休
 - ◆雨彦のにげん博覧会 青木 雨彦
 - ◆日本は燃えているか 柳田 邦男
 - ◆野望將軍(上・下) 笹沢 佐保
 - ◆私生活 神谷 拓郎
 - ◆晴れときどき殺人 赤川 次郎
 - ◆静かなる良人
 - ◆河井継之助 安藤 英男
 - ◆嫁と姑とわたくし 田中 澄江

催しものご案内



近郷庭球大会のご案内
次により庭球大会を行います。テニス愛好家は奮ってご参加下さい。

梅ぼし教室開催
次により梅ぼし教室を行います。梅ぼし愛好家は奮ってご参加下さい。

分館だより
横水分館だより
水田老人クラブ
六月 映画教室
期日六月二十八日(木)
午後一時三十分
水田集落センター

青年通信

若者へ.....Sあおぞら



皆さん、毎月この公民館報に何やら訳の分からぬ文章を載せているサークルあおぞら、もう憶えてくれましたか。毎月この欄を楽しみにしているの



折り紙動物園
サークルあおぞらでは親子がともに楽しみ、ともに憩える遊びの一環として、折り紙講習会を開きます。

赤十字安全教室を開催
日常おきやすい病氣やケガの手当を身につけて安全で健康な生活を送るために、次のような赤十字安全教室を開催いたします。

新潟都市計画道路の変更案の縦覧
都市計画法第二十一条第二項の規定において準用する同法第十七条第一項の規定により、次のとおり縦覧いたします。

俳句教室
俳句をお待ちします
俳句同好会

文化協会会長決る
昭和五十九年度小須戸町文化協会役員が次のように決まりました。

新潟県男子警察官(大卒)募集
次の要項により男子警察官を募集します。

健康増進指導車が来町します
「生涯を通じる健康づくり」を目標に、栄養と運動と休養の調和のとれた日常生活が定着するよう、健康増進指導車が巡回して指導を行います。

短歌
朝光にすずまり咲けるおだまきの花より花へ移り舞う蝶
角海浜より
伊藤照溪

五月句会報
庭隅の野蒜の雨の頼りなき
野蒜
庄三郎

中学生文芸
中学文芸
俳句クラブ作品
白井留美子
高橋淳子